

動的マイクロタスクによる
市民意見の収集・整理に関する研究
A Study on a Dynamic Microtask Approach to
Collecting and Organizing Citizens' Opinions

学籍番号：201821630

氏名：松田 悠平

Matsuda Yuhei

地方自治体において、住民の意見を収集し、それを政策に反映することは重要な課題である。住民の意見を収集するため、アンケート調査、インタビュー調査、市民討議会、パブリックコメントなど様々な手法が取られている。近年では、情報技術の発展に伴い、Web ベースでの意見収集が行われるようになってきた。

しかし、その多くは単に従来の方法を Web 上で実装したものである。例えば、Web ベースのアンケートで意見収集する場合でも、ただ単に自由記述の入力フォームを利用していたり、固定選択肢のアンケートフォームが利用されていたりする。このようなフォームは、最終的な判断を下すための投票のような用途であれば、従来の固定選択肢のアンケートを Web 上で行うことで自動的に集計することができるため、職員の労力を軽減することにつながる。しかし、政策の初期段階や、地域の課題発見のような多くの種類の意見を集めたい場合、単純に自由記述の入力フォームを Web 上で展開しただけでは、その整理に必要な作業は、紙で行われていた時と変わらず、職員の労力は依然として多いままである。テキストマイニングによる自由記述アンケートの分析手法では、意見の傾向を示すことはできるが、現在職員によって行われている意見の整理作業を置き換えるものではない。

そこで本研究では、市民がアンケートに回答しながら意見を整理および分類できるシステムを提案する。このシステムでは、選択肢のリストが動的に変化するマイクロタスクインタフェースを利用して、市民の意見を構造化された形式で収集する。

つくば市で実施したいくつかの意見収集プロジェクトと、クラウドソーシングプラットフォームと組み合わせて行った実験から、このシステムは意見の重複や偏りを抑えることができ、意見の整理を素早く、容易に行えることが示された。

研究指導教員：森嶋 厚行

副研究指導教員：松原 正樹